

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：謹教地区	開催日時：令和7年5月8日（木）18時00分 ～ 19時30分
担当班：第3班（出席議員）丸山さよ子、中川廣文、高橋義人、村澤智、渡部認	
開催場所：謹教コミュニティセンター	
参加人数：男性 7名、女性 2名、合計 9名	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 除雪対応についての意見、要望が多かった。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について ごみ処理の有料化、ごみの出し方、高齢者のごみ出し支援など、ごみに関する意見が多かった。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 高齢化社会に向けた、地域の助け合いについて ② テーマ設定の理由、背景 今般の大雪の際にも、高齢者夫婦や独居の高齢者は除雪に難儀しており、地域の助け合いが必要となった。一方、地域の中でも個人情報共有しにくくなった面がある。そういった中、共助の観点から、どのように地域を持続していくのか、改めて地域の声を聴取したい。 ③ 主な地域課題 高齢化が進むことで、ごみ出しができない、除雪ができないなど心配する声があったが、向こう三軒両隣でお互いに助け合って生活していくことが大切との意見もあった。	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月21日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会 第3班 代表者 丸山さよ子

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
不燃物ごみの有料化はどうなるのか。また、分別していないごみを地区で分別し出している。	今回は燃えるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみの処分が有料となる。今まで分別して出していたプラスチックごみなどは、引き続き無料である。 また、ごみの出し方については、市政日より6月号に特集記事を掲載する予定。今後、分からないことについてQ A方式で記載されたリーフレットが各世帯に配布される。 さらに、10月以降に詳しい内容が記載されたガイドブックも全戸配布するなど、周知に向けて取り組んで行く。あわせて、周知啓発用指定ごみ袋を全戸配布する。 出前講座を開催するので、町内会等でぜひ申し込んでいただきたい。	○	①		環境
テレビやタイヤ、オイルなどの不法投棄の問題がある。ごみ出しのルールを守らない人がいるので、何とかならないのか。また、ごみ処理が有料化になるとどのような影響があるのか心配である。最終的には町内で処分しているが、市で丁寧に対応してもらっており大変助かっている。	廃棄物対策課から環境共生課に市の担当課が変更となったので、引き続き連携して対応してもらいたい。	○	①		環境
町内でお金を出して不法投棄されたテレビを処分した。今後、不法投棄が心配される。高齢化が進み、ごみ出しについて理解できない人も増えているため、近所の方のごみ出しの手伝いもしている。出前講座もあるが、どう対応していけばよいのか不安である。	貴重なご意見をいただいた。基金の使い道について、例えば不法投棄を防止するための監視カメラの設置に使うなど説明があった。 【補足説明】 環境共生課に確認したところ、町内会への支援として、不法投棄やごみステーション等への悪質な違反ごみの排出防止を目的とした、違反ごみ等見守りカメラシステムがある。困ったときは、相談してみたい。	○	①		環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみ処理を有料化することによって、本当にごみが減るのか。先進地での事例もあるようだが、本市に当てはまるのか。実際、どのようにして減っているのか。キエーロなどを設置できる場所がある人はよいが、そうでない人はどうするのか。	市の説明では、他自治体の取組において、ごみの量は確実に減っているという事例がある。これまで、生ごみの減量に向けてキエーロの設置補助を活用しやすくしたり、様々な補助に取り組んできた。また、ごみ緊急事態宣言では特に生ごみの削減や資源ごみの分別に取り組んだことで、確実にごみの減量につながっている。 皆さんのご理解と協力が重要となってくる。引き続き、ごみの減量に取り組んでいただきたい。	○	①		環境
ごみ減量への取組が、高齢者にどのような負担になってくるのかを考えなければならないと思う。	ごみ処理の有料化に向けて段階的に進めて行く自治体は他に例がないと聞いている。今後、皆さんにどのように浸透していくのか注視していく。	○	①		環境
旧三角屋食堂から第三中学校に向かうまでの道は30年以上前から消雪設備が設置されているが、今年は壊れてしまって全く作動しなかった。 そのため、通学路になっている歩道も雪が融けず、生徒たちが車道を歩き非常に危険だった。市に問合せしたが、原因を調査中で年内に直るか分からないと言われた。早急な復旧を後押ししてもらいたい。	今後の対応について確認して後日報告する。	○	③	後日確認し、事後報告 (事後報告書P8)	道路
今、街中に空き地や空き施設がある。市と商工会議所と各種団体が集まって、国会議員と連携して国に陳情し、予算を取り街づくりに取り組んでみてはどうか。	ご意見として伺う。現在、国の出先機関を誘致しようという話が盛り上がってきた。引き続き、今後の動向を注視していく。	○	②		防災・安全
今後は、神明通りのリオンドール跡地や学鳳高校跡地、栄町第二庁舎などをどう活用するのか。	栄町第二庁舎には、社会福祉協議会等各種団体が入るなど、今後の活用が予定されている。	○	①		まちづくり
西栄町にある棟続きの空き家が老朽化して端から壊れており、連鎖的に倒壊する危険がある。所有者もあやふやで、適切な管理がされていない。周囲に危険を及ぼしており、危機管理課に現地を見てもらったが、その後の動きがないので何とかしてほしい。	空き家対策については、危機管理課から建設部の建築住宅課が担当することになった。市の対応状況や現地を確認し、後日報告する。	○	③	後日確認し、事後報告 (事後報告書P9)	防災・安全

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
資源ごみを入れる折りたたみ式の入れ物があるが、より扱いやすいものはないのか。また、古くなって擦り切れ破れてきたので、交換できないのか。	市の環境共生課に連絡すると交換してもらえるので、連絡してもらいたい。	○	①		地域社会
竹田病院の前をしっかりと除雪してもらいたい。救急車が走行できないのは困る。優先順位を上げて除雪をしてもらいたい。	高速道路の会津若松インターチェンジ付近から、竹田病院などへの道路の除雪をしっかりと対応する体制が必要と考える。	○	①		雪害対策
学校区単位などの小さな単位での除雪や排雪について、雪が降る前からしっかりと体制を整えてもらいたい。	学校など地区の重要施設付近の除雪の在り方、国・県と連携した除雪の在り方、会津地区以外からの排雪応援など、来年の降雪に向けて検討していく。	○	①		雪害対策

○ 地区別テーマでの意見交換について →高齢化社会に向けた、地域の助け合いについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	地区別のテーマについて、ご意見を伺う。謹教地区において、参考事例や現状の課題などについてお聞きしたい。	○	①	
後期高齢者の介護支援において、ごみ出しの補助や自宅前の除雪を町内ボランティアで対応している。となり近所が分からない状況で対応に苦慮しているので、他の町内での参考事例があれば教えてもらいたい。	どなたか、参考事例などあれば教えてほしい。	○	②	
民生・児童委員の成り手がなくて困っている。私は町内会長をはじめ7つの役割を兼務しているが、その中で民生・児童委員の仕事はそんなに大変ではないと言いたい。話を聞いて、何かあれば支援につなぐだけだということを知ってほしい。	ご意見として伺う。	○	②	
民生・児童委員は、皆さんが言っているほど大変ではない。大変だという人がいるから、やってくれる人がいなくなってしまう。	ご意見として伺う。	○	②	
町内会長と民生・児童委員を兼務している。町内会や民生・児童委員にできることには限界がある。そこで、町内会では、向こう三軒両隣での助け合いをお願いしている。昔からの共助が大切であり災害時などの緊急時は、やはり隣近所が一番重要であると思っている。	ご意見として伺う。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について →高齢化社会に向けた、地域の助け合いについて

【分類】●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
民生・児童委員として、ごみ出しについて高齢者への支援ができるよう勉強していく必要がある。 また、ごみ袋の見本品が配布されるのは、説明しやすいので助かる。ごみ出しだけのボランティアもあるので、活用してはどうか。	情報提供に感謝する。このような情報をいただき、共有していきたい。	○	①	
認知症の不安がある方のごみ出しはどうなるのか心配である。また、土はごみとして出せないので、処分方法を教えてほしい。	土は、廃棄物処理法が定義する「廃棄物」に該当せず、市町村に処理する責務はないものとされている。処分方法としては、庭に撒いて戻すか、産業廃棄物として民間業者に依頼し、有料で処分してもらうことになる。	○	①	
以前、都市計画審議会の委員をしていた。当時は将来の街づくりにおいて、高齢者でも動ける範囲内に公園など色々な施設やバス停があるということを話していた。自宅の周辺で生活できる仕組みづくりが必要と考える。	ご意見として伺う。	○	②	
これから高齢化がさらに進んで行くと、町内会の役員の担い手がなくなる。現在の役員も、色々な役を兼務して大変な状況にあるが、街の仕組みとして成り立っているのか心配している。	どの地区も同じような状況にある。	○	②	
実際に町内会が解散したところがあると聞いている。適正な行政サービスが受けられるのか。そういう状況が聞こえてくるのはまずいのではないか。ごみ出しなどはどうなっているのか。	ご意見として伺う。 【補足説明】 環境共生課に確認したところ、解散した町内会のごみ出しについては、地区で協力して今までの場所でごみ収集場所を継続して活用していると認識しているとのこと。	○	②	

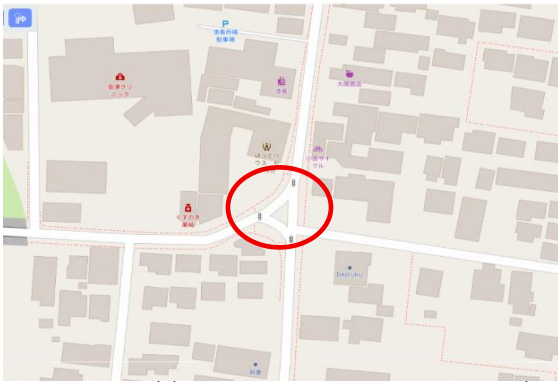
○ 地区別テーマでの意見交換について →高齢化社会に向けた、地域の助け合いについて

【分類】●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
小・中学校で町内会がどのような活動をしているのか、仕組みなどを紹介してはどうか。子どもたちが家族で共有することで、保護者とも話しやすくなると考える。 老人会も少なくなっている。	ご意見として伺う。子ども会が減少し、横のつながりが希薄になっている。 青年会、婦人会など色々な団体があったが、本当に少なくなった。子どもの時から、地域での活動を教える機会が必要と考える。	○	①	

市民との意見交換会・事後処理報告書

謹教地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. ポンプが故障した消雪道路の復旧について（P 3）	【市民からの要望・質問】 旧三角屋食堂から第三中学校に向かうまでの道は30年以上前から消雪設備が設置されているが、今年は壊れてしまって全く作動しなかった。そのため、通学路になっている歩道も雪が融けず、生徒たちが車道を歩き非常に危険だった。市に問合せしたが、原因を調査中で年内に直るか分からないと言われた。早急な復旧を後押ししてもらいたい。 【事後処理結果】 建設部道路課へ確認したところ、制御盤を交換したが動かないとのこと。引き続き、故障の原因を調査するので復旧までもう少し時間がかかるようだ。 そこで、電源側のマグネットスイッチなどの設備が壊れていないか電気工事業者に確認もらうよう依頼してきた。引き続き、復旧まで議会として注視していく。 ①新横町地内 消雪ポンプの現状  出展： OpenStreetMap https://www.openstreetmap.org/	備考 会津若松市新横町 1 番地内 

市民との意見交換会・事後処理報告書

謹教地区

件名	処理（対応）内容	備考
2. 老朽化して倒壊しそうな 空き家の管理について （P 3）	【市民からの要望・質問】 西栄町にある棟続きの空き家が老朽化して端から壊れており、連鎖的に倒壊する危険がある。所有者もあやふやで、適切な管理がされていない。周囲に危険を及ぼしており、危機管理課に現地を見てもらったが、その後の動きがないので、何とかしてほしい。 【事後処理結果】 建設部建築住宅課に確認したところ、棟続きの家屋の中で生活している人がいるため、空き家には該当しないとのこと。 倒壊しそうな建物は現地確認もして把握している。また、危険な場所への立ち入りを禁止するバリケードを設置した。現在、管理している不動産会社を通して、建物の今後の在り方について地区の複数の所有者の皆さんと検討を進めている。 議会としては、空き家部分が周囲に危険を及ぼすことがないように注視していく。	空き家の様子 

会津若松市議会議長 様

令和 7 年 5 月 21 日

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会 第 3 班 代表者 丸山さよ子

○ 当日欠席された方から、事前にいただいた意見について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供)

市民からの意見	議会（議員）の回答	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
先日、引き取り手のない遺体の多さが報道された。（令和5年厚生労働省推計 全国4万2千人）会津若松市内の一人暮らしの高齢者は統計によると約6,400人で、これからも増加すると考える。 この方々に頼りになる身内等がなく、貯蓄も収入も乏しければ、葬儀・納骨・家財の処分等の対応が困難だが、どうするのが安心につながる好ましい方法だろうか。 例えば、葬儀会社と終活契約する場合、市が関与すれば一定の効果があると思う。 横須賀市でこのような取組をしているようだ。 〈例示における市関与のメリット〉 ①依頼者(頼りなる身内がいない高齢者)の一定の安心につながる。 ②葬儀会社にも有益な面がある。（会社の信頼性が増す） ③関与方法によるが、市もメリットが一定程度ある。	終活についての課題は、複数の議員が一般質問で取り上げ、議会として認識はあるものの、課題の整理や検討までは至っていない。 文教厚生委員会では、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアシステムの充実について調査・研究を進めている。その中には、看取りや在宅医療も含まれているが、一人暮らしの高齢者が増えている中、終活等の支援について考えていかなければならない課題だと思う。 横須賀市の終活登録の取組について、令和5年12月定例会議で一般質問した際に、会津若松市の答弁では、「終活情報を生前登録する取組については、高齢単身世帯の増加に伴い必要性は高まっていくと考えるが、様々な個人情報の取扱いや権利関係等への関与など、行政が関わる上での役割や責任などについて整理すべき課題もあり、慎重な対応が必要であると認識している。」という内容だった。 なお、身寄りがなく経済的に大変な方の場合、市が開設している「生活サポート相談窓口」で相談いただきたい。	○	②		少子高齢化

○ 当日欠席された方から、事前にいただいた意見について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供)

市民からの意見	議会（議員）の回答	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の将来人口推計によると、会津若松市の0～14歳人口は、2020年から2050年の間で、約13,800人から約6,200人に減少し、55%減になっており、同時期における市の全人口は、117,000人から76,000人に減少し、35%減となる。この推計では、わずか30年で子どもの数が半分以下になり、高齢化率も跳ね上がる。 子どもが減るのは、親世代が他市へ引越すするか、子を望まないか、未婚などの理由だと考える。 また、高齢化率は、2020年から2050年で、31%から44%になると予想されている。（推計人口76,000人、内65歳以上33,000人） ① ほぼこの通りとなった場合、市にとって困るのはどのようなことか。 ② 移住喚起の他に、少子化対策として現具体策はどのような内容か。 ③ 対策の効果をどのように考えているのか。なお、実績値はどのくらいか。	会津若松市議会は、少子高齢化、人口減少化が進んでいることに対し危惧しており、会津若松市議会基本条例に基づき少子高齢化、人口減少化に対応すべく、市民意見を起点とした「会津若松市議会政策サイクル」を整え「まちづくり」行っている。（詳細は、令和7年3月発行の議会参加ガイドブックを参照） これからも市民の意見を政策に生かせるよう、議会活動を充実していく。	○	②		少子 高齢化